

昨年度評価(R5年度)								
【主たる中施策事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_関連する重点事業名	3_総合 評価	4_R5年度 決算①	5_R6年度 予算②	6_差 (②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
32	商工業の育成振興事業		B	142,722	81,115	-61,607	商工業者の経営の安定を図るためセーフティネットの認定や信用保証料の助成を実施し需要に応じることができた。また物価高騰対策として、事業者支援と地域の消費喚起、市民生活支援の側面から令和4年度に実施した割引券事業を踏襲した上で広報の頻度を増やすことで利用率の拡大を図り、今後の事業実施の参考のため市民向けに初めてeモニターを利用しアンケートを行った結果好評を得た。今後も適切な支援等施策に備えていく。花マルシェプロジェクトは期間限定で、関連商品が初の東京(そごう西武百貨店)進出を果たした。	産業支援課
32	企業誘致事業		B	106	165	59	事業主体である県企業庁柿ノ木工業団地については、1次募集で7区画の契約が完了し2次募集が行われた。市として選考審査を実施し応募企業の中から地域と共存できる企業を選定し企業庁へ意見を提出した。今後、残存区画が生じた場合は引き続き優良企業を誘致できるよう県企業庁と歩調を合わせていく。	産業支援課
31	観光活性化事業		B	10,444	10,558	114	4年ぶりの開催となった「桶狭間古戦場まつり」を実行委員会及び地域住民の尽力により実施する事ができた。また、NHK大河ドラマ「どうする家康」の放映を契機に、県の観光推進協議会とともに「大金星のまち」豊明のPRを行った。豊明駅周辺の賑わい創出については名鉄豊明駅開業100周年を記念して「日本一大きな無人駅」と言われている豊明駅を活用し豊明高校イラストレーション部の協力による顔出しパネルを設置した。	産業支援課
24	ふるさと豊明応援寄附推進事業		C	7,691	11,509	3,818	国の地場産品基準の改正により人気商品の出展が困難となったことなどにより寄附額が大幅に減少した。一方、クラウドファンディングを活用したふるさと納税については一定の効果があったことから、今後も共感が得られる事業の選定を行い継続していく。	産業支援課
32	農業振興事業	・新規野菜産地ブランド化事業 ・地域計画策定関連事業	C	15,514	15,007	-507	新規野菜「カリフローレ」を始めとした指定野菜に高付加価値をつけて出荷する取組みに対する補助や表示シールによるPRを継続して実施した。また、地域計画策定に向けて、農業者の意向調査を行ったうえで、地域の農業者等との協議を実施し、地域農業を続けるための未来に向けた方針の決定やアイデアの把握を行った。さらに、地域農業に関することに協働で取り組み、未来に持続可能な農業を目指すため、JAあいち尾東と連携協定を締結した。	農業政策課
24	農業委員会事業	・農地関連システム整備運用事業	B	13,694	10,476	-3,218	適切に農地情報のデータ更新や管理運営を行うために、農地関連情報を登録・管理する農業委員会サポートシステムの支援アプリケーションを導入した。また、農業委員会サポートシステムと連携しているタブレット端末を活用した現地調査を行い、農業委員会審議や農地利用最適化活動を効率的かつ適切に実施した。	農業政策課
7	市道等維持管理事業	・道路(橋梁)等長寿命化事業 ・前後駅前広場デッキ整備事業 ・道路照明施設LED化事業	A	294,932	276,332	-18,600	法令に基づく橋梁点検を実施した。駅前広場デッキ整備にかかる工法の選定、発注時期の指定を行うことにより請負業者を決定することができた。道路照明灯をリース方式によりLED機器への交換を行うことにより、施設更新の費用削減、使用電力量の削減、排出二酸化炭素量の削減を図った。	土木課
7	交通安全施設管理・整備事業	・交通安全施設整備事業	A	30,898	30,494	-404	通学路交通安全プログラムでの対策が必要な個所を整備することにより、児童の通学時の安全を確保することができた。	土木課
19	総合治水対策事業	・田んぼダム治水対策事業 ・防災調整池治水対策事業	A	33,651	86,279	52,628	豊明市総合治水対策のひとつとして田んぼダム治水対策事業を計画し、効率的な事業推進のための浸水シミュレーションによる検討を行い今後の事業実施の指標とした。また実施にかかる補助金確保に対して各省庁との交渉を行い有効な補助体制を実現した。防災調整池設置計画の見直しを行い浸水対策として実効性のある新計画を策定した。	土木課 (下水道課)
29	公園施設整備事業	・三崎水辺公園改修事業 ・公園施設改修事業 ・公園整備事業	A	68,708	175,304	106,596	令和7年度未完了予定の三崎水辺公園改修工事詳細設計を行い複合遊具等の決定を行うとともに、クラウドファンディングや企業版ふるさと納税により事業費に対する寄附を募った。長田公園リノベーション工事において、住民懇談会を開催し市民の声を反映した整備工事を実施した。館西公園新設に伴い管理者との協議を行い円滑な事業進捗を図った。	都市計画課
10	公園緑地管理事業	・公園包括指定管理事業	A	126,994	130,489	3,495	65の都市公園の管理が指定管理者になり、適正な管理が行われているか監視を実施し、利用者へのサービス向上の施策を指定管理者と協議した。	都市計画課
10	墓地管理事業	・勅使墓園包括指定管理事業	A	18,043	22,900	4,857	指定管理者と協議し、特にお盆・お彼岸時の草刈りを徹底した。また、利用者の利便向上のため、従来の仏花販売に加え、遠方等により墓園に来ることができない方のため、墓の見守りサービスを導入した。安全対策として老朽化樹木の伐採を実施した。長期の墓園のあり方について、令和4年度の意識調査をもとに合葬型墓地の導入について検討を行った結果、需要は一定程度あるが、他墓園での十分な供給が見込めるため現時点では導入しないこととした。	環境課
8	都市計画道路整備事業	・桜ヶ丘沓掛線道路改良事業	A	3,523	23,406	19,883	主要地方道名古屋岡崎線豊明中央工区に接続するための道路予備修正設計を行い、県事業との進捗に同調した。	都市計画課 (土木課)
10	土地区画整理事業	・都市ガス導入補助金事業 ・土地区画整理事業(寺池地区)	A	265,940	750,000	484,060	寺池地区は、令和5年度はトヨタホームと保留地の売買契約を締結するとともに、計画とおり造成工事を完成することができた。これにともなう都市ガス導入補助金事業も完了することができた。間米南部地区は、令和5年12月に仮換地を指定し保留地の売買契約締結と工事中工に向けた準備を進められている。	都市計画課

昨年度評価(R5年度)								
【主たる中施策事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_関連する重点事業名	3_総合評価	4_R5年度決算①	5_R6年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
32	工業団地整備事業	・工業団地整備事業(柿ノ木工業団地)	B	9,991	18,895	8,904	柿ノ木工業団地は、市と愛知県企業庁が連携し、周辺住民との調和を図るとともに住民への影響を最小限に抑えながら円滑に事業を推進することができた。また、愛知県が実施している主要地方道名古屋岡崎線東工区の道路整備と連携協力しながら事業を推進することができた。	都市計画課
24	公共下水道維持管理事業	・流域下水道事業(建設事業負担金) ・全県域汚水適正処理構想計画事業	A	1,203,597	1,280,331	76,734	豊明市下水道基本計画では、上位計画と整合した区域見直しを行うとともに、総合治水対策を推進するため雨水区域の計画を策定した。下水道ストックマネジメント事業については、計画に基づき下水道施設の調整・点検業務を進めた。引き続き調査・点検・修繕を実施し施設の長寿命化を図っていく。	下水道課
6	ごみ減量啓発事業		B	4,290	769	-3,521	令和4年度にプラスチック一括回収を開始し、家庭から排出されるごみの量も減少傾向にある。出前講座やごみ減量についての大規模な市民説明会、地元区単位での意見交換会を実施することや、各種広報媒体を積極的に活用することで減量についての意識をさらに高めていくことができた。	環境課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。№90はめざすまちの姿関連外事業です。

「3_総合評価」から「6_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。